

あわじにんぎょうじょうるりかん
淡路人形浄瑠璃館

所在地：南あわじ市 福良



淡路人形座

淡路人形芝居は、500年の歴史を誇り、国指定重要無形民俗文化財に指定されている淡路島の伝統芸能です。

鎌倉時代に、舞楽など神事を生業とする楽人が大阪四天王寺から淡路島に移り住み、その後、西宮の戎神社に属したエビスカキ（人形の芸能）が島に伝わり、漁の安全と恵み等を祈る神事を人形操りで行うようになったことが始まりと考えられています。最盛期の18世紀初めには、44座の座元が覇を競い、千人以上の人形役者が淡路島のみならず日本全国を巡業し、人形芝居を伝えました。

淡路人形浄瑠璃館では、毎日人形芝居が上演され、淡路島の伝統芸能を伝える拠点となっています。

- 【景観の特徴】
- 自然が作りだす景観
 - 歴史が作りだす景観
 - ✓ 生活・文化が作りだす景観
 - 新しく作りだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道淡路島南ICから県道25号線を南下し国道28号へ。車で20分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図